

「第5次西宮市総合計画（素案）」に対する 意見提出手続（パブリックコメント）の結果について

「第5次西宮市総合計画（素案）」に対する意見提出手続（パブリックコメント）について、ご意見の概要とそれに対する市の考え方をとりまとめましたので公表します。

貴重なご意見をいただきありがとうございました。

※ いただいたご意見は、原則として要約したものを記載しています。

※ 個人・団体等への誹謗中傷など市が不適切と判断した内容や、個人等が特定される内容については、記載していません。

1. 意見募集結果概要

【意見募集期間】 平成30年7月25日（水）～8月31日（金）

【意見提出者数】 52人

【意見提出件数】 132件

年代別		居住地域別		職業別		提出方法別	
30代	3人	本庁	23人	会社員	4人	郵送	8人
40代	5人	鳴尾	5人	自営業	4人	FAX	12人
50代	3人	甲東	11人	公務員	2人	メール	1人
60代	9人	瓦木	4人	学生	0人	持参	14人
70代	24人	塩瀬	4人	その他	37人	システム※	17人
80歳以上	2人	山口	3人	未記入	5人	合計	52人
未記入	6人	未記入	2人	合計	52人		
合計	52人	合計	52人				

※兵庫県電子申請共同運営システム

《回答分類別》

回答分類	説明	件数
①素案に記載済の内容です	いただいたご意見の内容は既に素案に盛り込まれています。	14件
②素案を修正します	いただいたご意見をもとに素案を修正します。	3件
③今後の参考・検討とします	素案の修正はしませんが、いただいたご意見は今後の参考（検討）にします。	80件
④素案のとおりとします	ご意見の反映や対応が困難、または、市の考え方と方向性が合致しない内容です。	27件
⑤その他	素案の内容と直接関係のないご意見、感想等（①～④に該当しないもの）。	8件
	合計	132件

2. ご意見の概要及び市の考え方について

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
1	基本構想	-	超高齢・人口減少社会においては、都市の活力は維持できず、税金や年金を使う人が納める人より増えた段階で崩壊する。フランスやスウェーデンのように子供の数を増やす政策を推進する以外に対策はない。	阪神・淡路大震災以後、増加を続けてきた本市の人口も、既に減少に転じており、今後少子高齢化の進行により人口構造の変化が進むと予測されています。ご意見につきましては、今後の各施策における取組への参考とさせていただきます。	③
2	基本構想	将来像	計画作成にまず必要なものはコンセプト(目標や方針を端的に表すキャッチフレーズ)である。西宮市のコンセプトは昔から「文教住宅都市」であり、未だにその価値は高く薄れていない。 とはいえ、言い古されマンネリ感もあるので、原点を踏まえうえて、時代の流れに沿った形でリニューアルする必要がある。そこで、そのコンセプトを「六甲山系東端の、みどり豊かな、文教住宅、減災都市」とする。	第5次西宮市総合計画では、まちづくりの主要課題の1番目に、「住宅都市としての価値を未来に引き継ぐ」ことを掲げています。ご意見につきましては、計画策定における検討の中で参考とさせていただきます。	③
3	基本構想	将来像 1.まちや人の姿	将来像に関して、市の知名度を上げれば、都市としての価値が高まり、人口増加も見込めるのではないかと感じているため、例えば、雄大な自然と遊べる場所として、海や山をもっと生かし、駅近の利便性と自然のリゾートを併せ持つまちを目指したらどうか。そのためには、入口となる中国道西宮北ICから中心部への道路整備が必要。現道の県道は幅員が狭い。もっと拡幅するべき。	第5次西宮市総合計画では、まちづくりの主要課題の4番目に、「まちの魅力ある資源を生かし、市民文化を発信する」ことなどを掲げています。ご意見につきましては、今後の各施策における取組への参考とさせていただきます。	③
4	基本構想	将来像 2.都市空間形成の基本的な方向性	第5次総合計画と都市計画法に基づく都市計画の関連性がわかりにくい。	総合計画は市の最上位計画で市の目指す方向性やそれを実現するための施策の体系についてまとめた計画です。一方、都市計画は、都市計画法に基づき、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業に関する計画を言い、総合計画に掲げるまちづくりの方向性に整合を図るように都市計画が定められています。	⑤
5	基本構想	将来像 2.都市空間形成の基本的な方向性	県道82号について、特に盤滝トンネル無料化以降、大型車両(トラックやダンプカー等)の交通量が多くなっており、住環境の悪化(振動騒音、排ガス等)や交通安全面での脅威が増してきている。また、交通渋滞によりバスの運行時間に影響が出ているほか、北夙川通りや夙川さくら道に迂回する車両が増え、住環境が脅かされている。 「将来都市構造図」では、県道82号を「都市軸」と位置付けているが、住宅都市としての価値を未来に引き継ぎ、良好な住環境を築くことを計画に掲げるのであれば、「生活交通軸」とすべきである。	県道82号(大沢西宮線)は、本市において国道2号及び国道176号を結ぶとともに、南部市街地と北部の地域核(山口地域)の連携を担う重要な道路であることから、「都市軸」と位置付け都市機能の向上・充実を図ることとしております。道路幅員や交通渋滞等による住環境についても「都市軸」として相応しくなるよう、更なる都市機能の向上を図ります。	④

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
6	基本構想	将来像 3.将来像の実現に向けて	今後、行政を進めていくうえでの参考として、群馬県太田市市長であった清水聖義氏の著書「前例への挑戦」からの抜粋を紹介する。行政には、与えられた財をどれだけ効率的に運用したか。市民の満足度はどの程度であったかについての検証はない。企業としての認識を持つことが必要だ。良い人材が育てば、職員として働く期間だけではなく、次の世代に引き継がれる。職員としての使命感を持つ人間とマンネリの中で行動する人間とでは雲泥の差である。市民サービスの向上を追求し、前例踏襲・他都市模倣では市民の希望を叶えることはできないということを念頭にまちづくりを進めてほしい。	第5次西宮市総合計画では、まちづくりの主要課題の6番目に、「地域力の向上を図りつつ、長期的な展望に立った持続可能な行政運営を行う」ことを掲げています。ご意見につきましては、今後の各施策における取組への参考とさせていただきます。	③
7	基本構想	将来像 3.将来像の実現に向けて	総合計画については、各部局の施策について進捗状況の管理を行い、市報等で公表する仕組みを徹底してほしい。また、総合計画が市の道標であれば、職員一丸で各部局各職員に徹底できるような意気込みで取り組んでもらいたい。	第4次総合計画では、総合計画の体系を基本とし、予算とも連携した行政評価の導入や、まちづくり指標などの数値目標による進捗管理にも取り組んだほか、人事評価や目標管理の導入などを進め、新しい行政マネジメントの仕組みづくりに取り組みました。 第5次総合計画では、より実効性の高い行政マネジメントが可能となるよう、運用面等の更なる改善に取り組みます。ご意見につきましては、今後の運用面等における検討の中で参考とさせていただきます。	③
8	基本計画・アクションプラン	-	総合計画を戦略的な計画にするため、主要課題に関するKPIを複数設定し、10年後の目標値を定めるべきである。さらに、その進捗状況を随時ホームページに公開し、市と市民が協働して地域を活性化する仕組みを組み込むべきである。もちろん、上記のKPIと市の施策や事業を連動させる仕組みも不可欠である。	第4次総合計画では、各施策に「まちづくり指標」を設定し、その数値目標やまちづくり評価アンケートのギャップ値(期待度と満足度の差)などを活用した行政評価(施策評価・事務事業評価)を実施することにより、計画の進捗に取り組んでおります。 第5次総合計画アクションプランには、第4次総合計画で設定していたような数値目標を設けていませんが、記載した項目や内容については、より実効性の高い行政マネジメントの仕組みや毎年度見直しを行う実施計画の策定作業等において進捗管理を図ります。	④
9	基本計画・アクションプラン	1.住環境	生瀬地域の用途地域の見直しはいつ行われたのか。(約50年前から第2種住居地域ではないのか)	生瀬地域においては、平成8年に用途地域の指定変更を行いました。なお、詳細につきましては、都市計画課へお問い合わせください。	⑤

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
10	基本計画・アクションプラン	1.住環境	「住環境の保全と向上」とあるが、向上については望む市民はわずかではなかろうか。瓦木地区は隘路が多いが、皆向上を望まず、静かな住宅地であることを望んでいる。公園も若干遠いがつくってほしいという要望は聞かなかった。数年前に自治会でアンケートをとったが、住環境に満足している人が65%、もっと便利な場所に住みたい人が35%だった。住環境については保全のみで、これに費やすお金は子育て施策等に回してほしい。「2.緑・自然」「3.景観」「4.市街地」についても同様である。	本市は、用途地域、地区計画等の都市計画制度等により、適正な土地利用を図り計画的なまちづくりを進めており、これからも地域の特性を生かした住環境の保全と向上に努めてまいります。 ご意見にある瓦木地区では、予定している主な取組として「阪急神戸線武庫川新駅設置の推進」「阪急神戸線と幹線道路との立体交差事業」「新駅設置に伴う周辺まちづくりの整備」を挙げておりますが、これらは武庫川新駅設置に伴うものであり、アクセス道路や駅周辺のインフラ整備を行うことにより、周辺の住環境が大幅に改善できるものと考えております。また、隘路の整備につきましては、緊急時や災害時の安全安心なまちづくりに寄与するものであり、「住環境の保全と向上」に最低限必要なことの1つと考えておりますことから、「狭あい道路整備事業」などにより、土地所有者の協力も得ながら幅員4mを確保する道路整備を進めてまいります。 公園や緑地については、子供の遊び場、休息や運動、地域コミュニティ活動の場等としての利用効果と、火災の延焼防止や災害時の避難場所、ヒートアイランド現象の緩和等の都市環境の改善、自然環境・生物多様性の保全などの存在効果があることから、市民の暮らしを支える重要なインフラとして、引き続き整備に努めてまいります。	③
11	基本計画・アクションプラン	1.住環境	空き家活用による中心市街地の活性化。(コミュニティ施設、商業施設、住宅等への転用を図る)	本市では、地域活動や地域の活性化を目的とした制度として、「空き家バンク」や「空き家利活用補助金」を実施しています。今後も空き家の利活用を促し、地域の活性化に努めてまいります。	③
12	基本計画・アクションプラン	1.住環境	西宮市は大阪と神戸の中間で通勤にも便利であり、住みたい街として人気があるが、これは昔からの文化が多くの人を引き付けるからだと思う。これ以上の宅地開発・マンション建設はしないいただきたい。	本市では、市街化区域と市街化調整区域の区域区分や、用途地域、地区計画等の都市計画制度などにより適正な土地利用を図っており、今後も地域の特性を生かした秩序ある市街地形成に努めてまいります。	③
13	基本計画・アクションプラン	1.住環境	北部地域において、無秩序な開発などを取り締まり、良好で緑豊かな住環境を保ってほしい。	本市では、市街化区域と市街化調整区域の区域区分等の都市計画制度などにより適正な土地利用を図り、良好で緑豊かな住環境の保全と秩序あるまちづくりを計画的に進めております。 ご意見にある開発事業につきましては、「開発事業等におけるまちづくりに関する条例」など各種法令等に基づき、今後も適切な指導等を行ってまいります。	③
14	基本計画・アクションプラン	1.住環境	住宅を新築、建替える際は、従前以上のみどりを確保することとする。そのために必要な都市計画法上の用途地域の見直しや建築基準法の運用見直しを行う。	住宅敷地内の緑化については、「開発事業等におけるまちづくりに関する条例」や「西宮市風致地区内における建築等の規制に関する条例」等により、緑地の確保を義務付けております。今後も引き続き緑地の確保に努めてまいります。	④

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
15	基本計画・アクションプラン	1.住環境	上ヶ原八番町みのり自治会の公園横の雑木林を伐採してもらいたい。カラスの巣があって子供が襲われたり、台風で倒木したりしている。	市が管理する敷地内の枯損または不要となった樹木については、伐採や剪定などにより適正な管理を行い、台風時等における倒木対策を図ってまいります。	④
16	基本計画・アクションプラン	2.緑・自然	上田西公園について、昔は水遊びができたが、今は草木が生い茂って水も流れておらず残念である。防犯上の観点からも、もっと中の様子が見えるように草木を取り除いてほしい。	公園や緑地の緑は、人々に潤いと安らぎを与えてくれるとともに、美しいまちづくりを進める上でも重要な役割を果たしております。ご指摘の上田西公園も含めて、防犯面の観点から見通しを確保するなど緑の適切な維持管理に努めてまいります。	③
17	基本計画・アクションプラン	2.緑・自然	生瀬の公園には遊具はそろっているものの、成人が四肢を鍛え、体操するための健康器具がほとんどない。高齢者の健康のため、外出や運動意欲向上のためにも設置をお願いしたい。	健康器具は、運動不足の解消、筋力や体力の維持など気軽に健康づくりができる施設です。公園の新設や老朽化した遊具の更新の際には、地域の皆様のご意見を伺いながら健康器具の設置を進めており、公園が市民の健康づくりの場にもなるよう努めてまいります。	③
18	基本計画・アクションプラン	2.緑・自然	空き地活用による中心市街地の緑化。(ポケットパーク等→まちの魅力向上、ヒートアイランド対策)	市街地の緑は、人々に癒しの空間を提供するばかりでなく、大気の浄化・ヒートアイランド現象の緩和にもつながります。空き地の所有者と市が借地契約を締結して緑化を図る市民緑地制度なども活用し、市街地の緑化に努めてまいります。	③
19	基本計画・アクションプラン	2.緑・自然	日本の都市はアスファルトとコンクリートに覆われている。その輻射熱を押さえるためにも高さ10m位の広葉樹を植え、必要以上の剪定はやめて緑化を推進するべき。	都市の緑には、ヒートアイランド現象の緩和等の都市環境改善の機能が、民有地を含めて緑化の推進に努めているところ。公園の樹木や街路樹につきましては、見通しや通行の確保、台風時等の倒木・枝折れのリスク低減、隣接地への影響などを考慮して随時剪定を行っております。引き続き、緑の持つ機能を考慮しながら適切な維持管理に努めてまいります。	③
20	基本計画・アクションプラン	2.緑・自然	生活面・教育面でみどりに親しむ施策を推進する。	地域のコミュニティづくりの一環として、身近なまちなかの公園や街路などで、住民自らが花壇を育成管理する花のコミュニティづくり事業や、地域の緑化ボランティアである花と緑のまちづくりリーダーが学校緑化や生徒を対象とした挿し芽教室を実施するなど、生活面・教育面でみどりに親しむ施策を引き続き進めてまいります。	③
21	基本計画・アクションプラン	2.緑・自然	都市緑化による雨水涵養の推進。(洪水・土砂災害対策、CO2削減、ヒートアイランド対策)	都市の緑は、まちに潤いを与え、大気の浄化、生物多様性の保全、防災、騒音の低減、ヒートアイランド現象の緩和につながります。都市近郊やまちなかに残る自然環境を多様な主体の参画と協働により保全するとともに緑化の推進に努めてまいります。	③

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
22	基本計画・アクションプラン	2.緑・自然	既存の私立大学、私立中学高校に対して優遇措置を行い、教育内容において、みどりを大切に親しみ豊かにする授業・研究に重きを置くようにする。	県民まちなみ緑化助成事業などにより学校の緑化を支援し、緑を大切にすることを育む環境整備を引き続き推進してまいります。また、学校を通じて、自然体験プログラムや里山ボランティア活動などへの参加を促すなど、緑・自然環境保全に対する意識の向上を図ってまいります。	③
23	基本計画・アクションプラン	2.緑・自然	本市において、生物多様性が維持されているとは思えない。特に外来種による在来の生態系や環境への影響が深刻である。外来種の問題、その種類や取り扱いについてPRすべきである。	現在、市では生物多様性にしのみや戦略に基づき、市民の参画と協働による里山保全やまちなかでの自然環境の保全活動、開発事業等における外来植物の植栽の制限などにより生物多様性の保全を推進しています。今後とも、外来種の問題を含め、生物多様性保全の重要性を市主催の行事や甲山自然環境センターなど環境学習施設において、積極的にPRしてまいります。	③
24	基本計画・アクションプラン	2.緑・自然	アサヒビール工場跡地の都市計画について、前市長は当初、公園と病院移転を中心にと言っていたにもかかわらず、市民の意見をろくに聞く機会も持たないまま「アサヒビール西宮工場跡地まちづくりガイドライン」が策定され、現在は国道沿いに自動車ディーラーとホームセンターが立ち並んでいる。 西宮の市街地には大きな公園がなく、50年先100年先を見たときには少子高齢化を考慮して誰もが気軽にに行ける緑あふれる場所をつくるべきであった。 3,000㎡の公園を阪神国道側に設けるようだが、そんな公園はどこにでもあつた。いつになったらそんな公園ができるのか。	アサヒビール工場跡地については、開発事業者がまちづくりに関する条例等に基づき、約3,000㎡の公園用地を提供し、まとまりのあるオープンスペースを確保することを目的として阪神国道駅に接する位置に配置することとしております。	③
25	基本計画・アクションプラン	3.景観	高層建築物は神戸市のように制限すべきである。高塚町のような貴重な森林や古墳の破壊には何ら抗う術がなく、がけ崩れが起きた時に公費で復旧工事をするといった事態にならないようにするべき。そのためにも、オーフス条約にある住民の街づくり参加権により、再開発や高層建築物の計画があるときは住民の意見を反映させられる仕組みが必要である。また、そのような計画を進めるならば、下水道の整備や保育所や学校の受け皿があふれるようなことがあつた際に、業者(受益者)負担により、一切の公費負担を拒否すべき。そして、宮水保存は、市内全域を対象に施行前の地下水脈調査を義務付け、その結果を住民に開示させるようにすること。酒蔵通りから西を見ると高いマンションが立ちふさがり、景観が台無しである。マンションの新設は、上述の方法で抑制すべきである。	本市における土地利用については、都市計画法に定められた用途地域ごとに、用途・建ぺい率・容積率の制限があり、また、高度地区等により最高高さの規制等の形態制限を行っております。 現状では、法令以上の規制を行うための最も有力な手段としましては、土地利用や建築などのルールを定めることが出来る地区計画制度があります。また、都市景観条例に基づく景観重点地区指定を行い、緑化等のルールを定めることも可能です。 しかしながら、これらの制度を活用するためには、地域住民の方々が自ら取り組んでいただき、地域での合意形成を図る必要があることから、市では、各種専門家を地域へ派遣するなど、様々な支援を行っております。	④

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
26	基本計画・アクションプラン	3.景観	高塚町では緑豊かな高塚山の樹木が伐採され、山が削られ、戸建て・マンション建設が進められている。市として、緑地や景観の保全を図るならば、具体的にどこを保全するのか具体的に示す必要がある。そのため、開発業者の動きを速やかに把握し、開発の是非を緑地保全の観点から判断するとともに、近隣住民に情報提供し、ともにどうすればよいのか考えてもらいたい。行政と住民が納得いくまで時間をかけて話し合うことが必要である。そのためのルール、規則を具体的に市民に示すとともに計画に書き加えてもらいたい。	本市では、都市計画法により風致地区を指定し、都市における良好な自然的景観を維持するため、一定の緑地を保全・確保するよう努めております。 また、「開発事業等におけるまちづくりに関する条例」の手続きの中で、事業者に対し、開発事業概要の段階で近隣住民との協議を行うことを義務付けており、また、その協議内容を踏まえた開発計画とするよう指導しております。	③
27	基本計画・アクションプラン	3.景観	高塚山は開発によって古墳が壊され、木々が伐採された無残な姿になった。今後宅地分譲が進んだ折は、新しい居住者に対し第三種風致地区であることを知っていただき、緑豊かな住宅地に再生してもらいたいと願う。	「西宮市風致地区条例」に基づき設置される緑地については、「緑地協定制度」の活用を開発事業主に指導し、実現に向けて協議を進めているところです。	③
28	基本計画・アクションプラン	4.市街地	鉄道(私鉄・JR)の駅周辺(半径500m～1km位)と国道・県道などの幹線道路の両側(50m～80m)は商業用地とし、産業発展を図る具体的な計画が望まれる。西宮市管財管理地の有効利用を含めたJR生瀬駅周辺の再開発を求める。	鉄道の駅周辺等に関しては、西宮市都市計画マスタープランに基づき、地域特性に合わせて土地利用に努めることとしており、JR生瀬駅周辺についても、同計画の土地利用方針において、戸建て住宅や中層の共同住宅が立地する「中低層住宅地」として位置付けており、良好な住環境の保全に努めてまいります。現段階で駅周辺の再開発を行う予定はありませんが、産業実態調査でも、北部地域の商業機能に対する満足度は他の地域より低くなっており、商業機能に対する課題があると認識しております。	③
29	基本計画・アクションプラン	4.市街地	塩瀬地域における長期的なまちづくりを進めるため、以下の提案をする。 ・塩瀬中学校の建て替え時に、塩瀬中央公園(塩瀬体育館、運動場含む)に場所を移転する。その際、斜行エレベーターにエスカレーターを併設して通学の利便性向上を図る。 ・移転後の塩瀬中学校跡地に大型外資系スーパーを誘致する。 ・UR跡地にベーカリーレストランを誘致する。 ・東山台桜通り沿い山手に周辺にロッジ型小規模ホテルを誘致する。 ・読売GC、三田アウトレット、神戸フラワーパーク、道の駅等へのアクセスのためのハブの核となるべく、中国自動車道に名塩スマートインターを設置する。	塩瀬地域における長期的なまちづくりを進めるためには、今後の人口減少や高齢化等を踏まえた市街地のあり方を検討する必要があると考えます。また、産業実態調査でも、北部地域の商業機能に対する満足度が他の地域より低くなっており、商業機能に対する課題があると認識しております。 今後も、地域のニーズや特性に応じた健全な土地利用の誘導策を検討してまいります。 なお、本市では、学校施設の長寿命化計画を策定しているところであり、今後、学校施設の建て替えサイクルを80年とする予定です。塩瀬中学校は、もっとも古い校舎で昭和51年(1976年)の建築であり、建築後42年であることから、第5次総合計画期間中の建替えの予定はありません。	③

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
30	基本計画・アクションプラン	4.市街地	<p>西宮浜では就学児童が減少し高齢化が進んでおり、産業団地は様々な企業が入り乱れた状態となっており、市の目指す将来像とはかけ離れたものとなっている。近く、西宮浜は名神湾岸連絡線により、交通の利便性が飛躍的に向上し、日本中の人・物の流れの接点となるが見込まれる。</p> <p>ぜひ、市主導で西宮浜のグランドデザインをつくりあげてほしい。西宮浜は的確で斬新なビジョンに沿って再考すれば、西宮市にとって、最も将来性があり計り知れないほどの価値のある地域となり、人や企業が集まり税収が望める街になる。例えば、海洋関係の企業や教育機関を誘致したり、日本有数のヨットハーバーをまちづくりに生かすなど、海に囲まれた特色を生かす考えはないか。</p> <p>また、住民の世代交代が進まず、少子高齢化が進む原因は、居住区域が物理的に少ないことにある。最低でも、阪神高速湾岸線以南、札幌筋以西(西宮浜の4分の1程度)の区域は居住区として再調整・再開発すべきではないか。</p>	<p>西宮浜は、道路、公園、学校、宅地、工業用地等の計画的な整備が完了し、既に成熟した市街地が形成された地区となっているものと考えております。一方で、同地域が事業用地提供や産業集積の面で重要な役割を担っていることも認識しており、今後の名神湾岸連絡線整備に伴う国や各企業の動向等を注視してまいります。</p>	③
31	基本計画・アクションプラン	4.市街地	<p>魅力ある都市景観形成のため、アサヒビール工場跡地の活用問題について、早期に解決してもらいたい。緑豊かな公園の整備、病院統合に向けての諸課題の解決、阪神国道駅の外観整備。</p>	<p>アサヒビール西宮工場跡地のまちづくりについては、良好なまちづくりの実現を目的とした規制・誘導方針として、平成26年11月に「アサヒビール西宮工場跡地まちづくりガイドライン」を策定しました。また、このガイドラインに沿って、平成27年11月に都市計画法に基づく地区計画(津門大塚地区地区計画)を定め、平成28年1月には景観法に基づく景観重点地区(津門大塚地区景観重点地区)を定めました。</p> <p>市では現在、縣市病院統合に向けて、諸課題解決のため、県や市議会と協議中であり、統合の早期実現に努めてまいります。また、統合に合わせて約3,000㎡の整備を予定している公園については、駅前という立地条件と魅力ある都市景観形成を考慮した公園整備を行います。</p>	③
32	基本計画・アクションプラン	4.市街地	<p>立地適正化計画+交通ネットワーク+空き家・空き地利活用によるコンパクトシティ化の推進。</p>	<p>「立地適正化計画」を策定し、持続可能なまちづくりを目指してまいります。</p>	①
33	基本計画・アクションプラン	5.公共交通	<p>JR西宮駅から阪急バスに乗って通学する関西学院大学の学生が多くなったため、買い物帰りのバス停(大社町)から乗れないことが増えた。老人にとって、暑いときや寒いときはつらい。</p>	<p>ご意見をいただいたバス路線の課題につきましては、以前より市も認識しており、阪急バスと対応策について協議を進めてきた結果、平成30年9月1日のダイヤ改正において増便するなど取り組んでまいりました。</p> <p>今後も、交通利便性の更なる向上に努めてまいります。</p>	③

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
34	基本計画・アクションプラン	5.公共交通	<p>公共交通について、脱自動車社会として、電車やバスの利用を促進する意味はわかる。大半の市民は公共交通の長所短所を理解し、公共交通と自動車を使い分けており、既に「過度に自動車に頼る状態」から「多様な交通手段をバランスよく利用する状態」であると考えている。自動車や自転車は戸口から戸口への利便性、経済性、物流性に優れており、公共交通（高速、定時、大量輸送）は自由度が低く、ある意味で利便性も低い。利用者が少ないと向かない。また、輸送量の拡大・充実にコストがかかり、費用効率が低い。自動車の利用者を公共交通に取り込もうにも、阪神阪急の朝夕のダイヤは限界である。また、武庫川新駅についても、利便性に乏しく、西宮北口やJR甲子園口に自転車で行くという人が多い。尼崎側では新駅設置の要望を聞かない。1日3,000人前後の乗降客の見込みでは採算はとれず、一部の人のために税金(15億円)を使ってはいけない。地域住民も含め、市にとって大きなメリットとなることを示す根拠が必要である。</p> <p>公共交通ファーストで考えるのではなく、今の状況で電車や自動車(公共のバスではない)、自転車が共存する社会を推進してもらいたい。特に自転車についてはエコで健康面でもメリットがある。時代のニーズを受けとめ、強力な指導とバックアップ(自転車道増設)すれば、明るく持続可能な未来があると思う。</p>	<p>市としましても、高齢化が進展する中、誰もが利用しやすい「徒歩と公共交通」を中心とした交通体系を構築し、多様な交通手段をバランスよく利用できるようにすることが必要であると考えています。また、ご意見にある「自転車」についても重要な移動手段の一つと考えており、今後は、いただいたご意見も踏まえながら、「みんなが暮らしやすく、お出かけしたくなるまち」の実現に向け取り組んでまいります。</p> <p>また阪急武庫川新駅に関しては、設置が必要と考えており、引き続き兵庫県、尼崎市、阪急との協議を進めてまいります。</p>	③
35	基本計画・アクションプラン	5.公共交通	<p>さくらやまなみバスについて、鷺林寺、鷺林寺南口、神園への全便停車を望む。</p>	<p>「さくらやまなみバス」は鉄道駅のない山口地域と南部市街地を結ぶ基幹交通として平成21年4月より運行を行っており、運行に必要なバス停留所については、「所要時間の短縮」や「競合するバス路線への影響」を配慮し、南部地域では通学需要に対応する「学校などの最寄りバス停」「鉄道駅」「市役所」に限定しています。</p> <p>ご要望の3バス停留所は、学校や鉄道駅の最寄りではないため、これまで停車はしていませんでしたが、地域から夜間における帰宅時の利便性向上の要望を受け、平成30年4月から、競合する阪急バス・阪神バスの最終便以降に限り「さくらやまなみバス」を停車することといたしました。しかしながら、全便の停車については、競合する阪急バス・阪神バスへの影響を踏まえると実施は困難であると考えています。</p> <p>市としましては、今後も、さくらやまなみバスの更なる利便性向上について、阪急バスや阪神バスと協議を行ってまいります。</p>	③

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
36	基本計画・アクションプラン	5.公共交通	<p>阪急夙川駅ロータリーについて、以下のとおり再開発し、機能改善を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー待ちレーンを2列にする。 ・自家用車の送迎待機スペースを設ける。 ・みなと観光バスの停留所を設置する。 	<p>当該ロータリーについては、平成28年度に実施した山手幹線改修に合わせ、身障者用バースやタクシー降り場を新たに整備するなど、環境改善に努めてきたところです。しかしながら、ロータリーが狭いことから、ご意見にあるような「タクシー待ちレーンの増設」や「自家用車送迎スペース」などの整備は困難であると考えております。</p> <p>市としましては、今後も引き続き、利便性向上について検討してまいります。</p>	③
37	基本計画・アクションプラン	5.公共交通	<p>阪急甲陽線を廃止し、夙川駅北側ロータリーを開発し、バス路線を設定する。甲陽線跡地については、夙川ブランドを発信するプロムナードを設置する。</p>	<p>阪急甲陽線の甲陽園駅では1日当たりの乗降客数は約13,400人、苦楽園口駅では約14,900人と非常に多くの皆様が利用されており、甲陽園及び苦楽園地域の主要な交通手段の一つとなっています。また、現在、甲陽線は3両編成で概ね10分間隔の運行ですが、この輸送機能を電車より乗車定員が少ないバスが代替えることは難しいこともあり、甲陽線の廃止は困難であると考えています。</p>	④
38	基本計画・アクションプラン	5.公共交通	<p>阪急夙川駅のバス路線について、以下を要望する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道82号をバス基幹路線に、獅子ケロ-阪急夙川駅-さくら夙川駅→①JR西宮駅-西宮北口駅、②阪神西宮駅の路線(その逆も)を確立する。 ・夙川駅発のバスは原則すべて県道82号を出て各方面に向かうものとする。 ・阪神バスの山手線東回りルートについて、阪急夙川駅南ロータリー、さくら夙川駅を経由するようにする。 	<p>ご指摘の路線を含め、引き続き、バス路線の強化・再編についてバス事業者と協議を行う等、更なる利便性向上に努めてまいります。</p>	③
39	基本計画・アクションプラン	5.公共交通	<p>阪急夙川駅発のバス路線について、以下の新設を要望する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酒蔵通りなどの人が集まる場所へのルート ・海方面へのルート ・宝塚(逆瀬川)へのルート ・みなと観光バスの、東・北方面へのルート ・夙川-山口-三田のルート 	<p>ご指摘の路線を含め、引き続き、バス路線の強化・再編についてバス事業者と協議を行う等、更なる利便性向上に努めてまいります。</p>	③
40	基本計画・アクションプラン	5.公共交通	<p>本市には市バスがなく、阪急・阪神バスの路線から外れた地域の住民は通院や買い物に不便している。市で「くるくるバス」を走らせて市役所等にも行けるようにしてほしい。</p>	<p>ご要望の「コミュニティ交通」運行に関して、市では、既存の路線バスによる拡充等の対応が困難な地域に限り、地域が主体となって取り組むコミュニティ交通の導入に対して支援を行うこととしています。</p> <p>これは、市内で唯一、コミュニティ交通として生瀬地区で運行している「ぐるっと生瀬」が、一貫して地域主体で取り組み、積極的な利用促進活動等を行っていることが、順調に成果を上げている最大の要因となっていることから、地域主体の取組に対して支援を行うこととしているものです。</p>	④

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
41	基本計画・アクションプラン	5.公共交通	<p>盤滝トンネルが無料化されたものの、依然北部地域は交通が不便である。この地域はなぜ阪急バスしか通らないのか。阪神バスや市が運営するようなコミュニティバスが通っても良いのではないか。一社独占のためか、態度がよくない運転手も多数見かける。昔に比べて利用者は増えてはいるはずなのに料金設定も高いままである。</p> <p>北部地域は、豊かな自然が魅力で守るべきだと思うが、このままでは地域を離れる若者が増える一方である。後につながる街づくりを考えるなら、早めの手立てを検討すべき。</p>	<p>北部地域の交通課題は市としても認識しており、特にバス交通の利便性向上は必要と考えております。</p> <p>今後、「さくらやまなみバス」を含めた北部地域の更なるバス交通の充実に向け、バス事業者と協議を行う等、積極的に取り組んでまいります。</p>	③
42	基本計画・アクションプラン	6.子供・子育て支援	待機児童の解消を進める。	<p>保育所待機児童解消のため、平成31年4月に保育所等8園の新設を予定しております。平成32年度以降も保育所等の受入れ枠拡大は必要であると考えており、保育所等の整備のための新たな支援や様々な手法を検討するとともに、私立幼稚園の認定こども園への移行支援等も行い、待機児童解消に向けた取組を進めてまいります。</p>	①
43	基本計画・アクションプラン	6.子供・子育て支援	生活困窮世帯の子供への学習支援の推進。(埼玉県取組み→貧困の連鎖を防止)	<p>生活困窮者世帯の子供に対する学習支援は既に実施しておりますが、このたび、ひとり親家庭の子供に対しても学習支援を実施いたします。</p>	①
44	基本計画・アクションプラン	6.子供・子育て支援	<p>今後、女性が働きながら子育てすることが当たり前になる社会になるので、私立にばかり頼らずに、市立の保育所、幼稚園をつくらしてほしい。</p>	<p>女性就業率の上昇に伴う保育需要の増加への対策といたしましては、公立保育所でも定員の弾力化等で受入れ枠の拡大に努めているところであります。保育所等の新設にあたりましては、私立の場合には国からの整備費・運営費補助による財源の確保が可能である一方、市立の場合には全額が市の負担となることから、限られた財源を有効に使い受入れ枠拡大を進めるといった観点から、現在は私立での整備を進めております。また、公立幼稚園については、園児数が減少傾向にあることから、今後も就学前児童や幼稚園ニーズの動向などを考慮し、適正配置に努めてまいります。</p>	③
45	基本計画・アクションプラン	6.子供・子育て支援	<p>共働きで家族の援助なしに2歳の子供を育てているが、病児保育を利用しようとした際に、満員で利用ができなかった。市内中心部に2か所、定員16人では少なすぎる。</p> <p>市立中央病院と県立西宮病院統合後の新病院では、病児保育を実施してほしい。</p>	<p>病児保育の拡充は必要と考えており、今後、統合後の設備や医療機能などについての具体的な計画を県と協議・策定する中で、病児保育実施についても検討してまいります。</p>	③
46	基本計画・アクションプラン	6.子供・子育て支援	<p>市内の児童館の運営について、日曜祝日も開館してほしい。夏や冬は室内で遊ばせる場所がなくて困ることが多い。無料で遊ばせることができるため、経済的にも助かる。</p>	<p>児童館は遊び等を通じて子供の健全育成を図ることを目的として事業を実施しております。現在、日曜祝日の事業の実施は行っておりませんが、開所日も含めて、今後も引き続き、児童館運営の充実に向けて研究してまいります。</p>	③

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
47	基本計画・アクションプラン	6.子供・子育て支援	公立の幼稚園が閉園しているが、待機児童解消のため保育園として再度開園してほしい。土地建物をそのまま流用すれば、大きな費用をかけずに実行できるのではないかと。親が苦勞なく預けることができる社会を目指してほしい。本当の意味での待機児童ゼロを実現してほしい。	休園する幼稚園の建物又は土地を保育所等として活用するにあたりましては、施設を改修して使用する、または解体して新築するのいずれかの手法をとることになります。施設を改修して使用する場合、幼稚園と保育所では建築時の法基準が異なることから法に適合させるための改修が可能かどうか、給食設備等の増築が可能かどうか、また待機児童が多く出ております0～2歳児の保育室を確保できるのかどうか等、検討が必要となる事項があります。様々な可能性を検討し、最も適した手法を研究し待機児童解消に向けた取組を進めてまいります。	③
48	基本計画・アクションプラン	7.学校教育	日本の食料自給率は38%と報道されており、食品廃棄は年間600万トンと推計されている。食に対して「もったいない」の考え方が失われている。そこで、味覚教育の必要性を訴えたい。日本では人の味覚は3歳までに決まるとされているが、フランスでは小学校高学年に味覚教育が実施されている。学校で味覚教育を実施することで、将来にわたり市民の食意識の向上を図るべきである。	本市においては、主に小・中学校での学校給食や家庭科等の授業で食育を推進しています。ご意見のあった「味覚教育」については、現在の食育に内包されているかも含めて、今後の研究材料とさせていただきます。	③
49	基本計画・アクションプラン	7.学校教育	子供の育ちを応援する観点から、北部地域において、小中学生のための通学バスを導入してほしい。	本市においては、学校の統廃合により通学手段が確保できない、あるいは主要な通学路が未整備で安全が確保できない状況を考慮して、公共交通機関による通学に対し補助することとしています。	④
50	基本計画・アクションプラン	7.学校教育	現在、市立西宮高校が東大や京大に合格者を出せるようになった背景には、特色化(理系学科)がある。優秀な人材を育てることで、「文教住宅都市」西宮が輝いていくことにつながる。また、この路線拡大のため、市立西宮東高校については3年後を目途に中高一貫にすることを提言したい。公立において優秀な小学生を獲得するためには、この制度を利用すべきである。	西宮東高校は文系・理系2つの普通科コースを有しており、特色化が進んだ高校となっています。中高一貫の導入については、学区や選抜制度との兼ね合いもあり、困難であると考えています。	④
51	基本計画・アクションプラン	7.学校教育	不登校児に対する支援として「パルスステップ」を導入してほしい。「パルスステップ」は学校の先生と連携して、不登校児が自宅でパソコンを用いて学習できるシステムで、大阪医科大学の先生も推奨しているものである。発達障害等で学校に行きたくても行けない子供が、教室で学べないことで自信をなくし、心の病に陥らないか危惧している。家庭で学ぶことを認めてもらいたい。西宮市の政策として、パルスステップを導入し、不登校児の学ぶ権利を保障してほしい。	本市においては、不登校児童生徒のために適応指導教室を設置しています。また、西宮市在家庭学習支援システムにより、Webを活用した学習を提供しています。ご提案のあった「パルスステップ」を含むe-Learningについては、家庭におけるICT環境や機器を用いた学習の効用など、慎重に研究を進めるべきと考えています。	③

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
52	基本計画・アクションプラン	7.学校教育	<p>大屋町、瓦林町、熊野町、中島町のように、なぜ町内で小学校区を割って定めるのか。是非、町単位で定めて欲しい。</p> <p>自分は70歳で町内会の役員をしているが、2つの小学校の行事に参加しなくてはならず、多くの時間が割かれてしまう。この様な現状においては、次の役員のなり手はなかなか見つからない。とても育ちの応援や子育てがしやすい環境とは言えない。町内会や連合会の役員になる人がいなくなれば、宮っこの配布など地域のボランティア活動にも影響が出て、市の負担も増大する。</p>	<p>校区の編成については、地域性を十分に考慮し検討しておりますが、校舎や校庭などの施設面においても、児童・生徒にとって良好な教育環境を確保することを最優先に考える必要があると考えています。</p> <p>本市としても、今後において児童・生徒数が減少した際には、地域等のご意見も参考にしながら、校区のあり方について検討していきたいと考えています。</p>	③
53	基本計画・アクションプラン	7.学校教育	<p>地域の中心であり、広大な敷地と多くの施設を有する学校園は、住民にとって魅力的な活動場所になり得るにもかかわらず、放課後、夜間、休日はほぼ無人であり、保安上門扉も閉ざされている。人材育成の根幹である学校教育は最も重要ではあるが、外部と隔絶した環境では効果はさほど期待できない。教育内容についても、教育施設を地域に積極的に開放して、学校、地域、家庭がともに携わる仕組みを構築していかなければならない。地域住民にとって大切な財産が、単に教育だけに供されるだけでなく、広く地域に開放されることを願う。</p>	<p>全ての小・中学校に教育連携協議会が設置され、地域住民と学校が学校運営について協議を進めていますが、今後はこの取組を発展させ、コミュニティ・スクールを順次導入することにより、地域に開かれた教育課程を目指し、地域住民との協働による学校運営を進めることとしています。また、本市の学校施設は、スポーツクラブ21や青少年愛護協議会など、地域団体による活動のため、休日や夜間に開放しているほか、児童・生徒数の減少により転用可能な教室が発生した学校では、留守家庭児童育成センターや子育て広場をはじめ、他の用途への転用を図っているところです。今後も、転用可能な教室が発生した場合には、有効活用を図ってまいります。</p>	③
54	基本計画・アクションプラン	10.高齢者福祉	<p>富士宮市では、認知症患者を施設に入所させるのではなく、補助金により市内の商業施設に働く場所を設けることで、まちが一体となって支え合いを行っている。認知症患者にとっては、症状の進行も抑えられ、意欲向上にもつながっている。</p> <p>また、宮崎県のある自治体では、免許返納者が引きこもりになることを防ぐため、警察と社会福祉協議会が協力して免許返納者に対して様々なイベントへの勧誘を行っている。</p> <p>高齢者の意欲低下を防ぎ、居場所づくりを進めることが、これからの高齢者対策に必要ではないかと考える。このように、他市の高齢者対策において参考となる施策があれば、本市においても、取り入れてはどうか。</p>	<p>本市では、高齢者の介護予防として「西宮いきいき体操」を推進しており、現在7,000人以上の方が参加されています。健康づくりだけでなく、友達と会うことが楽しみになっていたり、休んだ人に訪問するなど仲間づくりや地域づくりにも繋がっています。</p> <p>また、認知症カフェなどのつどい場の推進も図っており、モデル事業として実施してきたコーディネーターを配置するつどい場「共生型地域交流拠点」を、概ね小学校区ごとに開設していきたいと考えております。</p> <p>他にも、他市での効果的な取組がありましたら、本市でも取り組んでいきたいと思っております。</p>	③
55	基本計画・アクションプラン	10.高齢者福祉	<p>将来像に関するアンケートについて、「徒歩や公共交通でお出かけしやすいまち」をあげた人は50%を超えるが、現実として電車やバスの椅子に座ることは難しく、場所・経済性から車を選択する人も多い。70歳以上の高齢者に高齢者交通助成割引購入証が交付されているが、買い物券や図書カードの配布を望む。</p>	<p>現在の高齢者交通助成制度は、電車、バスだけではなく、タクシー、介護タクシーの利用も可能あり、新たな給付については、財政上の問題もあり、難しいと考えます。</p>	④

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
56	基本計画・アクションプラン	10.高齢者福祉	医療、介護、福祉サービスの融合とICTの活用。(医療系人材の活用、施設配置の合理化)	医療、介護、福祉サービスの融合については、取組内容に記載のとおり、各種研修会などを通じて多職種の相互理解を深め、医療・介護サービス事業者及び従事者の連携強化と市民への円滑な提供に努めてまいります。ICTの活用については、多職種間の情報共有の観点からその有用性等について研究しているところです。	③
57	基本計画・アクションプラン	10.高齢者福祉	高齢化の進行は止まらないが、諸悪の根源ではない。高齢者がその能力を地域社会で生かすことのできる施策が必要である。高齢者の能力を生かせる場所づくり、高齢者、子供、若者が一つに集えて交流できる場所づくり、地域の中で介護が必要な人も皆と一緒に生きていける環境づくりを行政と住民が話し合い、協力して築いていく必要がある。そのためにも、地域ごとに「いきいき高齢者マップ」を通じて、高齢者が豊かに楽しく能力を発揮できる地域をつくりたい。	モデル事業として平成26年度から実施してきたコーディネーターを配置するついでに「共生型地域交流拠点」を、概ね小学校区ごとに開設していきたいと考えております。そこでは、高齢者だけでなく障害のある人や子供など様々な人たちが参加し、参加者各々が自身の持つ力を活かし、お互いに助け合い、支えあう地域社会づくりに取り組んでいくことを目指しています。	③
58	基本計画・アクションプラン	11.障害者福祉	誰もが住みやすいまちにするため、障害者や高齢者などの移動に制約がある人がどこでも行けるように「ユニバーサル都市」の宣言や条例整備を検討してほしい。福岡市などを参考に、国の総合バリアフリー法を横だしするような形で、例えば、多目的トイレの西宮モデルをつくり基準化するか、他の自治体の先進的なユニバーサルデザインを市として推進してほしい。また、上記とともに、明石市や千葉県など多くの自治体が制定している障害者差別を解消する条例の策定を、障害当事者の参画の上で目指すことを計画に盛り込んでほしい。今まで以上に、誰もが住みやすいまちづくりを西宮市の特徴にすることを総合計画でうたってほしい。	本市の公共施設をはじめ、病院や大規模店舗、公園など、多くの人が利用する施設などについては、「兵庫県福祉のまちづくり条例」に基づき、エレベーターや多機能トイレの設置、ピクトグラム(絵文字)による案内表示など、誰もが利用できるよう、ユニバーサルデザインに基づいた整備を推進してまいります。 また、障害者差別解消に関する条例の制定については、施策分野「11.障害のある人の福祉」の取組内容⑤共生社会の実現に向けた理解の促進を図るための施策として、条例の制定に向けた協議を進めており、素案を修正します。	②
59	基本計画・アクションプラン	13.医療保険・年金・医療費助成	北部地域は三田市や神戸市北区と隣接しており、生活面で利便性が高いが、国保の健康診査などについて利用施設の制約がある。北部地域の特性を踏まえて、広域連携のサービスを進め、その進捗を逐一北部住民に知らせてほしい。	北部地域の特性を考慮し、近隣市との連携など、サービス向上のため、今後の参考にします。	③
60	基本計画・アクションプラン	16.共生	仕事と子育ての両立支援の推進。(福井県の取組み→夫婦共働き率、出生率の増加)	取組内容②は、ご意見のニュアンスも含んだ表現となっています。 また、仕事と子育ての両立支援については、女性だけでなく男性に対しても行うべきものと考えております。	①

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
61	基本計画・アクションプラン	17.生涯学習	宮水学園について、教室は他の施設の借り物、書き物するのに机もない教室があり、椅子を引っ付けて並べられて身動きがとれない上、かばんや上着を置く場所もない。文教住宅都市を売りにするのであれば、宮水学園に専用の校舎をつくってもらいたい。今後高齢化が進むにあたって、高齢者を家から引き出すことは介護予防にもつながる。現在高齢者の2%しか宮水学園に参加していないが、施設や教科内容を充実させれば参加率は上がるはずである。高齢者の交通利便性を考え、できればJR南西地区開発に盛り込んでもらいたい。	宮水学園を含む生涯学習は、様々な地域にお住まいの市民の皆さんが、より身近に学習に取り組んでいただけるよう、公民館などの地域施設も活用して実施しています。今後も、学習内容の充実を図るとともに、高齢者の学習環境に配慮しながら生涯学習を推進してまいります。	④
62	基本計画・アクションプラン	17.生涯学習	市の図書館は、とりわけ蔵書数が多いわけでもなく、他都市と似たり寄ったりのものである。相互貸借も可能とあるが、自宅から予約できるシステムにもなっていない。システムの規格が違う他市との連携など不可能だから、自前で群を抜く蔵書数を揃えることで、40万都市の中で、全国的に象徴的な図書館となっしてほしい。	図書館では、蔵書の質・量の両面での充実を図るなど、市民の読書活動の推進に取り組んでおります。図書館の蔵書は、市民のニーズや社会的課題を考慮して購入しておりますが、所蔵していない図書については、国会図書館や県・他市の図書館からの相互貸借により提供しております。今後も、市民の多様な要求に応えられるように蔵書の充実を努めてまいります。	③
63	基本計画・アクションプラン	17.生涯学習	各地域の公民館等の施設において、色々な講座や講演会、イベントが開かれているらしいが、北部地域には情報が伝わってこない。	市内全域の方に情報が伝わるよう、西宮市ホームページの公民館のページや市政ニュースでの情報提供など、今後とも広報に努めてまいります。	③
64	基本計画・アクションプラン	18.文化芸術	高塚山の開発では、古墳の保存を訴えたがかなわなかった。文教住宅都市を更に豊かなものにしていくならば、文化財の保護も強調してもらいたい。計画の中で文化財の保全に関する厳しい規則をつくり、住民とともにまもりたい。	素案では取組内容として、文化財を生かしたまちづくりを推進する、として、史跡等の保護を進めることとしております。また、文化財保護法、兵庫県文化財保護条例及び西宮市文化財保護条例において、史跡をはじめ重要な文化財を指定して保護してまいります。	④
65	基本計画・アクションプラン	18.文化芸術	高塚山は開発によって古墳が壊されたが、その際の教育委員会の見解は「残す価値がない」とのことだった。文化財保存全国協議会の専門家からは「海が見える古墳は有力な首長の墓である」との意見を頂いており、今後できる公園に、残っている墓石や埋蔵物の展示をしてもらいたい。	遺存する石室の石材については、事業者の協力を得て、開発事業地に計画されている公園内に管理上適切な範囲においてその一部を設置したうえ、高塚1号古墳に関する説明版を付設することとしております。また、出土した遺物については、郷土資料館に収蔵し特別展示を行いました。今後も機会を捉えて展示してまいりたいと考えております。	⑤
66	基本計画・アクションプラン	19.スポーツ	西宮市は他市に比べ子供の数が多く、学力も高いと評判だが、夏場利用できるプールがなく、宝塚市のような開放的な公園もない。昔あった厚生年金プールのような安くて行きやすいプールを作っほしい。	プールにつきましては、既に民間で広く提供されていることや費用対効果の観点からも、公共施設として新設することは困難であると考えております。	④

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
67	基本計画・アクションプラン	19.スポーツ	スポーツ施設については、人口減少や高齢化、若者のスポーツ離れもあり、中央以外の西宮浜や鳴尾浜の利用度は低く、今後については縮小または現状維持でよいと考える。ただし、市民がスポーツを楽しみ、健康づくりを促進することや指導者の人材育成については素案の通りでよい。	利用率の低い既存施設については他用途への利活用を図るなど検討していくとともに、将来の人口減少を見据えた持続可能な施設整備・利活用を基本としつつ、市民ニーズ等に合わせて長期的な視点に立った施設整備、維持管理を進めてまいります。 またスポーツ活動の推進や人材の養成など、一層の取組を推進してまいります。	③
68	基本計画・アクションプラン	19.スポーツ	子供たちが伸び伸びとスポーツを楽しみ、大人が散歩等できる環境整備が必要。	年齢等を問わず、生涯にわたりスポーツと接点を持ち続けることができるような事業展開、環境整備を図ってまいります。	①
69	基本計画・アクションプラン	20.都市ブランド	日本酒を生かした産業振興の記載はあるが、日本酒を持続可能な形で生産していくための条件整備について言及されていない。特に宮水は西宮の酒造には欠かせないものであるため、宮水を含む地下水の保全と適切な利活用について、何らかの言及があってもよい。	宮水について記載いたします。	②
70	基本計画・アクションプラン	22.産業	平成16年に水害のあった名塩木之元の一部地区について、埋め立て(かさ上げ)をして、病院・医療施設、学校(大学等)、商業施設などを誘致し、北部地域住民の働き場所の確保を望む。	平成16年に水害のあった名塩木之元の一部地区については、将来的に河川としての役割をもつ土地として兵庫県により用地買収されたことから、ご提案にあるような働き場所としての活用は困難であると考えております。	④
71	基本計画・アクションプラン	23.農業・食の流通	産業面において、みどりに関係する農業の保護育成に資する施策を進める。	都市農業の持つ多様な機能の保全・活用を図るための施策を進めてまいります。	③
72	基本計画・アクションプラン	23.農業・食の流通	有害鳥獣の被害の対策を強化してほしい。	兵庫県猟友会西宮支部など関係機関との連携強化に努め、有害鳥獣・特定外来生物の捕獲活動を強化してまいります。	①
73	基本計画・アクションプラン	23.農業・食の流通	卸売市場の老朽化に対して再整備が必要である。	施設の著しい老朽化が進んでおり、関係者との協議を継続しながら、事業の早期実現に向けて、引き続き取り組んでまいります。	①
74	基本計画・アクションプラン	24.就業・労働	高齢者への就業支援の推進。(名古屋市等での取組み→生きがいの確保、市税・保険料収入の増加)	国、県、西宮市シルバー人材センターなどと連携して、相談業務、各種セミナーなどの就労支援を重点的に行います。転職でのキャリアアップや再就職がスムーズに行えるよう、必要な知識や技術の支援について検討します。	①
75	基本計画・アクションプラン	25.環境保全	歩行喫煙の禁止。	環境美化の観点から本市条例の趣旨に沿った記載をしました。	⑤

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
76	基本計画・アクションプラン	25.環境保全	環境保全にあたり、市がきちんとリーダーシップをとるべきである。温暖化防止の取組みを示すものとして、市の施設の電気使用量の推移、ガソリン使用量の推移、ごみ排出量の推移、再生可能エネルギーの導入量の推移などを公表して、市民への模範を示すべきである。「低炭素社会」という難しい表現を用いるのにも疑問がある。	市の施設における電気使用量等については、「西宮市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」の実績報告で公表しておりますが、その他の項目についても、公表に向けて検討してまいります。 「低炭素」については、第3次西宮市環境基本計画における環境目標の一つとして位置づけているため、原案どおりとします。	③
77	基本計画・アクションプラン	25.環境保全	以下の記述を加えること。 ・エネルギーの地産地消を目指す。 ・再生可能エネルギーを最大限活用すること。	多様なエネルギー利用、及び省エネルギー活動の普及啓発を充実させていくことにより、自家消費を目的とした自家発電システムなどの導入につながれると期待しています。 再生可能エネルギーの最大限活用について、国のエネルギー基本計画等で謳われていますが、引き続き、国の動向を注視しつつ、検討して参ります。	③
78	基本計画・アクションプラン	26.生活環境	空き地・空き家の対策を進める。	本市では空き地について「空き地の環境を守る条例」に基づき所有者等に適正管理を義務付けるとともに、パトロールを実施し、管理指導に努め、空き家については「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき適正管理を促進してきました。 本市の空き地の状況として「空き地の環境を守る条例」に基づいて適正管理するよう指導した空き地の箇所数は平成21年度以降年々減少しています。また、全国的に空き家が増加している中で、平成28年度に実施した空き家の実態調査結果では、空き家の数、管理が不適切な空き家の数ともに少ない状況でした。 しかしながら、近い将来に到来する人口減少や高齢化による管理が不適切な空き地や空き家の増加が懸念されます。 このような課題に対応するため、適切に管理がされていない空き地及び空き家の所有者等に対して関係課等と連携し指導・啓発を継続して行います。 加えて、空き家については、管理が不適切な空き家の発生の抑制や特定空家等を生み出さない対策として、空き家だけではなく住宅の所有者等に対して啓発することで予防的な取組を進めることとしています。 また、所有者と利用希望者をマッチングする等の支援を行うことにより、住宅として良好な状態を保つとともに、利活用を促進することとしています。	①

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
79	基本計画・アクションプラン	26.生活環境	空き家が残るのは、更地にすると固定資産税が3倍になるからである。税制度を見直せば、空き家は減る。	<p>空き家が発生し、常態化していく要因には税制度以外にも様々なものがありますが、空き家は個人の財産であるため、その所有者等が責務として適切に管理することになります。</p> <p>しかしながら、近い将来に到来する人口減少や高齢化による管理が不適切な空き家の増加が懸念されます。</p> <p>このような課題に対応するため、適切に管理がなされていない空き家の所有者等に対して関係課等と連携し指導・啓発を継続して行い、管理が不適切な空き家の発生の抑制や特定空家等を生み出さない対策として、空き家だけではなく住宅の所有者等に対して啓発することで予防的な取組を進めることとしています。</p> <p>また、所有者と利用希望者をマッチングする等の支援を行うことにより、住宅として良好な状態を保つとともに、利活用を促進することとしています。</p> <p>なお、家屋除却後の敷地が固定資産税等の住宅用地特例の対象から除外され、固定資産税等の税額が上がる場合がありますが、管理が不適切となっている空き家の敷地についても、特例の対象から除外される場合があるなど、税制度の見直しも行われています。</p>	⑤
80	基本計画・アクションプラン	26.生活環境	プラスチックごみについて、東部処理場では「容器リサイクル法」に基づき、収集したごみをわざわざ分別しているとのことだが、なぜ当初から市民に対して分別をお願いしないのか。同処理場ではゴミ発電により売電をしているとのことなので、いっそのこと、プラスチックごみもサーマルリサイクルしても良いのではないかと思う。	「その他プラ」や「ペットボトル」は、市民の皆様にご協力をいただき分別収集しております。プラスチックごみの扱いについては、資源を有効活用し循環型社会の形成を推進するためにも、再商品化を継続してまいります。	④
81	基本計画・アクションプラン	26.生活環境	本市のマイバック持参率は低調で、定着しているとは思えない。また、商品に用いる大きなトレーや過剰な包装は目に余るものがある。プラスチックごみ削減に向け、市民にPRするとともに、店舗に対しても取組を促すべきである。	現在、海洋に流出するマイクロプラスチックごみ対策が全世界規模での重要課題としてクローズアップされており、レジ袋やストロー等の使い捨てプラ製品の規制化が進んでおり、我が国においてもレジ袋の有料化等が議論されております。今後も引き続き国の動向を注視しながら、市民・事業者への啓発活動に努めます。	①
82	基本計画・アクションプラン	26.生活環境	川や水路のプラスチックごみが目立つ。原因は、ポイ捨てや集積場の管理が不十分なことなどがあげられるが、ポスター等を用いてもっと市民に啓発すべきと思う。	今後も引き続き、市HP・市政ニュース等の各種広報媒体を通じて周知・啓発に努めます。	③
83	基本計画・アクションプラン	27.水道	「西宮市水道事業ビジョン2016」では、丸山浄水場の今後のあり方を検討するとあるが、災害、事故、テロ、サイバー攻撃などによりインフラ施設が破壊された際の影響を考えれば、施設を1か所に集中させるより分散させるほうが良いと考える。丸山浄水場については、廃止より活用する方法を考えるべきである。	<p>西宮市では、異なる水系での複数水源を利用した供給を維持し、一つの水源の供給に支障が生じた場合でも、供給が途切れないバックアップ機能を保持する方針です。</p> <p>北部地域では、県営水道の三田浄水場と丸山浄水場を結ぶ連絡管の整備によって、県営水道の水源が複数化されます。連絡管整備後の水運用を見極めながら、丸山貯水池と丸山浄水場のあり方についても検討していきます。</p>	③

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
84	基本計画・アクションプラン	28.下水道	雨水排水管の管径UPと放流河川などの氾濫防止対策。(集中豪雨による冠水対策)	時間雨量55mmに対応する下水道施設として、管渠の能力向上や貯留施設の整備等を進めてまいります。河川の洪水対策については、国・県に事業実施を要請してまいります。	①
85	基本計画・アクションプラン	29.道路	中津浜線のJR跨線橋について、歩道橋の階段横に自転車が通るためのスロープを設置するなど、自転車も通れるようにしてほしい。	中津浜線のJR跨線橋は、地表面からの高低差が大きくスロープ長が長くなることから、構造的に設置困難です。	④
86	基本計画・アクションプラン	29.道路	生瀬小学校への進入路を拡幅すべき。同校へは給食車両も小型車しか入れず、校外学習の時も大型車両が入れない状況である。	道路拡幅には、沿道の家屋や神社などの用地取得などが必要であり、多額の事業費を要するため、実施困難です。	④
87	基本計画・アクションプラン	29.道路	財政負担の軽減にもつながるため、公共事業(特に国道176号線)の工期短縮は必要ではないか。	市としても、国道176号名塩道路の整備促進については必要と認識しており、引き続き国に要請していきます。	①
88	基本計画・アクションプラン	29.道路	西宮の地を南北に結ぶ道路構想を検討してはどうか。ヨットハーバーや甲子園球場から、西宮北口、宝塚、山口を経て、三田・神戸市北区に至る南北の道路を開通させてほしい。実現すれば、新たな観光・リゾート産業の開発も期待でき、物流面でもメリットが期待できる。	本市の道路ネットワークについては、平成27年度に都市計画道路網の全体的な見直しを行い、必要性の低い道路計画を大幅に廃止いたしました。平成30年4月現在、都市計画道路の整備率は約84%に留まっております。今後も引き続き都市計画道路の整備に取り組み、本市の課題である南部地域における南北方向の交通円滑化や北部地域の渋滞緩和などに努めてまいります。	④
89	基本計画・アクションプラン	29.道路	従前より県道82号線については、幅員が狭くて事故や渋滞が多く、また、緊急車両やバスの通行にも支障が出ている状況であったが、盤滝トンネルの無料化により大型ダンプカーや大型トラックの通行量が激増した。大型車は道幅をはみ出して走行しており、歩行者にとっても大変危険な状況となっている。 この住環境(騒音)の悪化と通学路の状況について、市として確認し、意見を聞かせて欲しい。	これまでも、県道82号線の安全対策については、道路管理者である兵庫県に要望を行い、現道内で対応可能な歩道整備など改良が実施されてきたところですが、更なる安全対策について、引き続き兵庫県に要望していきます。	③
90	基本計画・アクションプラン	29.道路	地域共生の観点から、南北方向のインフラを拡大・増大し、移動のスムーズ化・高速化を図る。	本市の道路ネットワークについては、平成27年度に都市計画道路網の全体的な見直しを行い、必要性の低い道路計画を大幅に廃止いたしました。平成30年4月現在、都市計画道路の整備率は約84%に留まっております。今後も引き続き都市計画道路の整備に取り組み、本市の課題である南部地域における南北方向の交通円滑化などに努めてまいります。	③

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
91	基本計画・アクションプラン	29.道路	大規模な宅地開発やマンションの増加により、駅から離れた場所に多くの人に住むようになった。そのため、阪神甲子園駅では駐輪場が不足している。 駅から離れた場所での宅地開発について規制してもらいたい。また、大規模な駐輪場を整備してもらいたい。	駐輪対策で民間開発を規制することはできませんが、住宅開発を含めた一定以上の開発により発生する自転車需要に対し、開発地内で自転車駐車場の整備を義務付け指導しております。 鉄道駅周辺においては、放置自転車対策として自転車駐車場の整備・増設を行っております。また、阪神甲子園駅周辺においても、公共・民間で自転車駐車場を整備しており、阪神電鉄の高架化事業に併せて高架下に民間の自転車駐輪場が整備される予定です。	③
92	基本計画・アクションプラン	29.道路	阪急夙川駅の南西にある山手幹線の西行き信号機に、右矢印を設置する。	信号機の改良につきましては、警察の所管となりますので、近隣住民同意の上、自治会長名(周辺自治会長の連名)で内容や箇所を記載した要望書を直接所轄の警察署へ提出していただきますようお願いいたします。 市の交通安全対策課に提出された場合は、市から警察署へ要望書を提出いたします。 要望を受けた警察は、道路状況や交通事故発生状況などを確認し、改良の必要性の有無を総合的に判断すると聞いております。	③
93	基本計画・アクションプラン	29.道路	県道82号の夙川学院前交差点、南行きに車線に右折レーンの設置を要望する。また、全ての場所で安全にすれ違えるよう整備を要望する。	県道82号の夙川学院前交差点の右折レーン設置を含む、西宮六甲線踏切及び周辺道路の安全対策については、兵庫県と連携し、阪急電鉄、兵庫県公安委員会、阪神バスなどとの協議を進めています。	③
94	基本計画・アクションプラン	29.道路	自転車は有効的な移動手段一つであり、市民の健康増進、子供の送迎などにも重要な役割を果たしている。しかし、本市では自転車専用道があるのは限られた地域のみである。また、道路交通法上、70歳以上は歩道通行可能なことはあまり知られていない。 市内には多くの交通不便地域があり、買い物、通院、通学などについて総合的な交通政策を確立することが必要である。とりわけ、歩道の幅員確保、自転車道の整備を重要課題として計画してもらいたい。	自転車の利用環境の改善については、老朽化した幹線道路のリニューアルに合わせた、自転車道等の改良や自転車利用者のマナー向上策などソフト施策も含めて検討していきます。	③
95	基本計画・アクションプラン	29.道路	費用対効果の分析と優先順位づけが必要。必要性の低い道路の舗装工事など、土木作業の無駄遣いが目立つ。舗装工事会社が天下り先になっているのか。	幹線道路等の舗装更新については、舗装の損傷度合により優先順位を定めた「舗装修繕計画」に基づき、計画的に進めているところです。	③

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
96	基本計画・アクションプラン	29.道路	<p>県道82号について、特に盤滝トンネル無料化以降、他地域の大型車両(トラックやダンパー等)の交通量が多くなっており、住環境の悪化(振動騒音、排ガス等)や交通安全面での脅威が増してきている。また、交通渋滞によりバスの運行時間に影響が出ているほか、北夙川通りや夙川さくら道に迂回する車両が増え、住環境が脅かされている。</p> <p>具体的な対策として、大型通過車両の通行を制限するため、阪急神戸線ガード下や岩園隧道の高さ制限、盤滝トンネルのETCによる他市町村大型車への課金、他市町村大型車の市道、県道通過の事前申請制度の導入を提案する。</p>	<p>本市では、平成27年度に都市計画道路網の全市的な見直しを行い、必要性の低い道路計画を廃止することにより、本市道路ネットワークの課題である南北方向道路の機能強化などに取り組んでいるところである。</p> <p>今後も引き続き、未整備の都市計画道路などの整備に取り組んでいくとともに、定期的実施しております交通量調査などによって、市内の道路交通状況の推移を把握し、随時、必要な検討や見直しに取り組んでまいります。</p>	④
97	基本計画・アクションプラン	30.防災・減災	<p>砂防指定地域内での避難所の削減するためにも、生瀬小学校体育館を移転するべき。</p>	<p>避難所は、「洪水」「土砂災害」「地震」「津波」「大規模火災」「大規模事故災害」などが発生した場合、周辺住民が一時的に身の安全を確保する場所であるだけでなく、災害が収束した後に、自宅に戻れない被災者が一定期間避難生活を送るための施設でもあります。</p> <p>避難所に指定している生瀬小学校では土砂災害の影響を考慮し、山の斜面から離れた校舎等より順番に開設することとしており、さらに砂防施設も整備されていることから、現在のところ、生瀬小学校の避難所指定の解除及び体育館の移転は検討しておりません。</p>	④
98	基本計画・アクションプラン	30.防災・減災	<p>国道176号の整備や青峯連絡道の早期実現を図ることで、防災・減災対策を行ってほしい。</p>	<p>国道176号(名塩道路)道路改良事業につきましては、整備促進について引き続き国へ要請してまいります。</p> <p>また、青峯連絡道路事業につきましては、早期完成へ向けて努力してまいります。</p>	①
99	基本計画・アクションプラン	30.防災・減災	<p>JR以南の武庫川河川整備事業が行われているが、洪水を想定し、仁川が武庫川に合流する地域の河川整備にも早急に取り組んでほしい。合流地点では、長期にわたり堆積した膨大な量の土砂が川幅いっぱい広がっている。川床が高い位置にある仁川を濁流が一気に下り、合流する武庫川に流入を阻まれて堤防を乗り越える恐れがある。</p>	<p>武庫川、仁川につきましては、二級河川として兵庫県が管理しております。</p> <p>ご要望の主旨を河川管理者である兵庫県に申し伝えます。</p>	③
100	基本計画・アクションプラン	30.防災・減災	<p>青葉台や花の峯では、正規の避難所である生瀬市民館まで避難することは事実上不可能である。緊急一時避難所である自治会の集会所に避難する場合、鍵の開け閉めは地元住民ができて、避難所運営を1年任期の自治会役員が行うには無理がある。また、緊急一時避難所を開設したかの事後確認もなく、無責任に感じる。</p>	<p>緊急一時避難所の運営については、覚書締結者である自治会等や避難した地域住民で行っていただくことを前提としております。また、施設の開設については必要に応じて市から依頼し、開設準備ができた段階で連絡をいただく流れとなっております。なお、開設後の状況につきましては、不定期ではありますが確認の連絡をしておりますが、今後は、こまめな連絡に努めてまいります。</p>	③

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
101	基本計画・アクションプラン	30.防災・減災	道路沿い斜面の崩落防止対策の強化。(地震・集中豪雨対策、避難時緊急道路を優先)	道路沿いの斜面を含め、土砂災害対策の事業を促進します。	①
102	基本計画・アクションプラン	30.防災・減災	災害時の避難所となる小中学校の体育館について、エアコンを設置してほしい。	小・中学校体育館へのエアコンの整備については、大空間を冷やすのに必要なエアコンの設置費用や、受変電設備の増設に係る初期費用に加え、機器の保守や光熱費のランニングコストなど、設置後の経常的な経費を含めて多額の予算が必要となります。また、エアコンを設置する上での構造上の問題や室外機の設置場所の有無、空調運転時の騒音による影響など、技術的な面においても設置が可能であることが前提となります。本市では、普通教室のほか特別教室等にもエアコンを整備していることから、猛暑の際にこれらの教室等を避難所として活用することについて検討しているところです。	④
103	基本計画・アクションプラン	30.防災・減災	洪水時に浸水する可能性がある学校が避難所となっているので、見直してほしい。その際、私学(仁川学院)も考慮してほしい。	避難所は、「洪水」「土砂災害」「地震」「津波」「大規模火災」「大規模事故災害」などが発生した場合、周辺住民が一時的に身の安全を確保する場所であるだけでなく、災害が収束した後に、自宅に戻れない被災者が一定期間避難生活を送るための施設でもあります。 現在、市内の避難所(140箇所、全て公共施設)の多くが浸水想定区域に含まれていますが、できるだけ高い場所に多くの避難スペースを確保するという観点から、洪水時には建物の2～3階以上へ避難することをルールとしております。そのため、洪水時に低層階が浸水する可能性がある避難所であっても、今のところ指定を解除し見直す予定はございません。 また、仁川学院の避難所指定につきましては、災害時には仁川学院を始め私立学校園も、幼児・児童・生徒の安全と学校教育の実施を確保するため、地域との密接な協力関係が不可欠でありますので、今後の参考とさせていただきます。	③
104	基本計画・アクションプラン	30.防災・減災	地球温暖化により、降雨量が増加している。災害対策基準の見直しが必要ではないか。	災害時の体制や避難情報の発令基準は、近年の災害発生状況を踏まえ、適宜見直しを行っています。	③
105	基本計画・アクションプラン	30.防災・減災	災害時の生活用水確保のため、公共施設、大規模事業所、集合住宅には井戸の設置を義務づけるべき。	災害時に必要となる生活用水の水源を確保するため、避難所となる小学校のうち必要な個所に平成29年度末時点で24箇所の井戸を整備しております。	③

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
106	基本計画・アクションプラン	30.防災・減災	短期集中豪雨の減災として、排水機能の充実を図る。夙川、武庫川が氾濫した場合の想定も必要。地震発生時の身近な減災として、井戸を設置する。	時間雨量55mmに対応する下水道施設として、管渠の能力向上や貯留施設の整備等を進めてまいります。武庫川については、兵庫県により想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図等が公表されており、その他河川についても順次公表される予定です。災害時に必要となる生活用水の水源を確保するため、避難所となる小学校のうち必要な個所に平成29年度末時点で24箇所の井戸を整備しております。	③
107	基本計画・アクションプラン	30.防災・減災	津波対策への言及はあるが、高潮については全く触れられていない。南海トラフ大地震への備えが大切である一方、過去百年を振り返ると、西宮市に甚大な被害を与えたのは室戸台風やジェーン台風などによる高潮である。高潮対策について何らかの言及があってもよい。	現在、兵庫県がH27の水防法改正に伴い大阪湾沿岸(西宮市を含む)で想定できる最大規模の高潮浸水想定区域の設定に向けて検討を行っているところですが、ご指摘のとおり、高潮による被害も津波と同様に甚大となることが想定されていますので、高潮対策につきましても適切に記載してまいります。	②
108	基本計画・アクションプラン	31.消防	用海分団車庫の建て替えについて、なぜ地区の南の果ての住宅地の真ん中に2階建ての建物が必要なのかかわからない。現在の場所に建て替える方向で再考してもらいたい。	用海分団車庫については、平成26年度から現地での建替えに向け、立地条件などを検討した結果、現地建替えは困難と判断いたしました。また、国道43号以南の今津地区から西側は、消防活動拠点が少ない地域であることから、適正配置の観点からも、現計画の移転候補地での建替えが妥当と考えております。	④
109	基本計画・アクションプラン	32.地域防犯・交通安全・消費者安全	平成28年に直営化するまで、西宮市では独自の防犯灯維持管理制度が存在していた。これは、「補助金」という名目で防犯協会/支部経由で自治会の銀行口座に振り込みが行われる複雑極まりない制度だった。しかし、平成28年に直営化した後も、自治会住民に対してのみ防犯協会は会費の請求を行っている。 一任意団体が、同等の自治会に対しこのようなことを行うのは間違っている。また、全市民ではなく、自治会にのみ負担を強いるのは不公平である。このままでは、ますます自治会加入率が減少することが懸念される。対策をお願いしたい。	防犯協会は、地域住民の防犯意識の啓発・高揚、青少年の健全育成等の諸活動を展開し、犯罪のない明るく住みよい地域社会の実現に寄与することを目的に活動されております。 防犯協会に加入している住民の皆様におかれましては、防犯灯の直営化後も、地域自らが行うべき防犯活動に必要な費用として会費を負担し、その会費により防犯協会の運営や実施する事業に充てられていることに、問題はないと考えております。 また防犯協会の会費については、防犯協会は独立の任意団体ですので、市としては防犯協会でご検討されることが必要と考えております。	③
110	基本計画・アクションプラン	32.地域防犯・交通安全・消費者安全	防犯灯がLED化してから生活環境が悪化した。明るすぎて大変不快。睡眠にも悪影響である。生き物や植物への影響も危惧される。照度を下げるか傘をつけるか改善してもらいたい。	防犯灯の照度は、防犯上必要とされる、4メートル先の人の挙動、姿勢等を識別できる照度を基準としております。照度を下げることが困難ですが、近隣住民の皆様のご意見として角度等の変更をご希望の際は、防犯灯に設置しているプレートに記載のコールセンターまでご連絡下さい。	③

【回答分類】

① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
111	基本計画・アクションプラン	33.住民自治・地域行政	地域自治組織がぜい弱化している。有事の際には自治会の存在や活動が期待されているが、平時の住民交流は消極化しており、自治会組織の担い手は不足している。近年、地域拠点の窓口として行政が自治会を活用するケースも見受けられており、業務の一環として自治会に対して主導的な係わりを持つ時期が到来しているのではないかと。	自治会については、地域における任意の団体ではありますが、地域自治組織へのかかわり方について検討してまいります。	③
112	基本計画・アクションプラン	33.住民自治・地域行政	地域力を向上させるため、自治会加入率100%を目指して、運営費に市税を投入する。	自治会については、地域における任意の団体ではありますが、地域自治組織へのかかわり方について検討してまいります。	③
113	基本計画・アクションプラン	33.住民自治・地域行政	浜甲子園団地周辺において、社協の行事、自治会の行事等で大勢の人が集まることができ、調理もできる公民館的な公共施設がほしい。小さな集会所は足りている。	浜甲子園団地自治会様に、鳴尾公民館(鳴尾町1丁目)の運営にかかわっていただき、同公民館での講座の企画立案に寄与されています。また、南甲子園公民館(甲子園九番町)も近隣にごございますので、どちらかの公民館をご利用いただければと考えています。	④
114	基本計画・アクションプラン	33.住民自治・地域行政	膨大な会員数を擁する自治会では、互いの「顔が見えない」ことにより、その活動が形骸化してしまう。自治会は自主的組織だが、他の自治体の状況も掌握している市に対し、自治会が自ら改革に取り組めるような援助を求めたい。	ご意見を踏まえ、自治会へのかかわり方について検討してまいります。	③
115	基本計画・アクションプラン	34.行財政	安井地区には大きな公園がなく、緑化という点では劣った地区である。保健所移転後の跡地は公園にしてほしい。大きな公園は地域の緑化や防災対策には不可欠である。芦原地域のような防災公園を是非保健所跡地に整備してもらいたい。	今後、老朽化が進む公共施設の大量更新や改修に多額の費用が必要となる中、これらに適切に対応していくには、公共施設マネジメントの取組において、複合化や集約化する施設の跡地は売却や貸付による資産の有効活用を進め、財源を確保することが極めて重要です。 第二庁舎の整備に伴い移転することとなる保健所の跡地についても売却等による財源確保を基本としますが、隣接して建替え予定の市営住宅団地があるほか、老朽化が進む税務署や県の庁舎も立地していることから、こうした公共施設の今後の動向なども勘案しながら、全体として最も効率的な土地利用や資産の活用策を検討してまいります。	④

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
116	基本計画・アクションプラン	34.行財政	まちの魅力ある資源を生かす観点から、高いブランドイメージのある甲子園を市のイメージアップにもっと役立てるべきである。高齢者対策の一環として「還暦グランドゴルフ甲子園」などの高齢者イベントを、市が主体となってスポンサーを募って企画すれば、西宮市の知名度は全国区となり、経済面などでも様々な効果が期待できる。	本市には、身近にある豊かな自然や利便性の高い住環境、地域での伝統行事や商業施設の集積した活気ある環境など多様な魅力があり、これらの魅力については、プロモーションサイトやあらゆる広報媒体を通じて、市の内外に向けた発信に取り組んでいるところです。 ご意見にありますように、魅力ある資源を生かす取組、また、その取組を広く周知する効果的な方法については、今後も検討を進め、都市ブランドの向上に努めてまいります。	③
117	基本計画・アクションプラン	34.行財政	政策を推進するための財源確保に向け、以下のことを行う。 ・市民税以外にも市民から特別徴収税として毎年課税を行う。 ・市議会議員を5名ほど減らす。 ・市職員の報酬アップを微増にする。 全員が痛みを感じるようにしなければ、計画は実現しない。	・特別徴収税としては超過課税や法定外税が考えられますが、本市で実施している超過課税は法人市民税のみです。超過課税や法定外税は市民に負担を強いることとなりますので、導入については慎重に考えるべきものであることから、現時点では設ける予定はありません。 ・議員定数については、条例により41人と定められており、条例改正の是非については市議会において議論されます。 ・職員の給与については、地方公務員法の定めるところにより、国の人事院勧告や他都市の状況等を考慮しながら、水準の適正化に努めることとしております。	③
118	基本計画・アクションプラン	34.行財政	市民の安全に係る緊急的な課題については、法定外目的税による財源確保を検討すべきである。	法定外目的税は、地域の個別事情により、既存の税制度では本来負担すべき者から相応の負担を求められない場合に、既存の税制度との重複や矛盾、市民の過重な負担や他自治体の物流に対する障害、経済施策への大きな影響などがない範囲において認められるものです。その課税の方法や内容、納税者の担税力と受益の程度、徴税コストなどについて、慎重な検討が必要であることから、現時点においては法定外目的税を設ける予定はありません。	③
119	基本計画・アクションプラン	34.行財政	甲東・瓦木地区のまちづくり長期ビジョンとして、人口増加のための仕掛けが必要。その仕掛けとは、生産緑地について、農地の地権者が有利になるように行政が買収し、土地ストックを推進するなど抜本的な行政指導プログラムが必要。市の人口は増加を続けている。人口減少を前提とするより、人口増加のための施策を検討してもらいたい。	生産緑地については、甲東瓦木地区など、公園等のオープンスペースの不足が見込まれる地区においては、その有効活用の検討を進めておりますが、具体的な整備方針の策定や買い取りのための財源確保を図ることなど、多くの課題を整理する必要があります。また、本市の人口は震災以降増加を続けておりましたが、平成28年をピークに減少に転じており、将来人口推計の結果からも今後増加することは難しいと考えております。	③

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
120	基本計画・アクションプラン	34.行財政	第2庁舎や中央体育館の整備を大規模に行うことをやめてもらいたい。不要不急なところに税金を使わずに、困っている市民のために税金を使うべきである。	<p>第2庁舎(危機管理センター)の整備については、本市の危機管理体制の強化とあわせ、老朽化や耐震面において喫緊の課題を抱えた庁舎の建替え更新と機能の集約化を同時に解決できる事業として進めているものです。現在の計画は、本来求められるべき危機管理体制の強化という観点から、防災危機管理局に加え、消防本部や土木局、都市局、上下水道局などの関係部局との連携強化について再検討した結果によるものです。</p> <p>平成27年度に基本構想を策定し、翌28年度にはパブリックコメントを実施した上で基本計画を策定し、さらに、29年度には基本設計を取りまとめるなど、3年をかけて所定の手続を進めてきたもので、本年3月には議会の承認を経て事業者と契約を締結し、現在は鋭意実施設計を進めているところです。引き続き、平成32年度末の完成に向け、事業の着実な進捗に努めてまいります。</p> <p>また、中央体育館の整備については、築後50年以上が経過し、安全性や利便性の面から抜本的な老朽化対策が必要となっております。コスト・機能向上といった面から大規模改修と建替えの比較を行い総合的に判断した結果、大規模改修では費用対効果の面などからも現実的ではないため、現在の中央体育館を開館しながら、敷地内に新体育館を新築する予定となっております。</p>	④
121	基本計画・アクションプラン	35.執行体制	<p>これからの10年は以前にも増して、学校をはじめとした公共施設の改修・整備等が必要となる。古い建物にはアスベストが多く使用されており、特に公共施設については、耐火目的等でアスベスト使用が奨励されていたこともあり、改修や解体には厳重な注意が必要である。</p> <p>解体時等におけるアスベスト飛散対策費用は十分に用意されているのか。アスベストは発がん性物質であり、近隣住民の健康と安全安心のために、事前調査と飛散予防対策予算の確保、そのための知識を持った職員を配備してもらいたい。</p>	<p>公共施設の解体や改修時には事前調査等を行い、その結果に応じたアスベスト飛散対策費用を確保しております。また、解体工事着手前には大気汚染防止法や石綿予防規則等の関係法令に基づく届出を行い、市の環境保全課等の関係機関と協議しながら飛散防止対策を講じております。</p>	③
122	基本計画・アクションプラン	35.執行体制	西宮市として文教住宅都市を未来に引き継ぐために、どのような人材を育成していくのか。	<p>本市は、西宮市人材育成基本方針において目指す職員像を「～を常に求める職員」と定めており、職員採用においても、自ら求め、課題に挑戦する人材の確保に努めております。</p> <p>採用後は、様々な行政経験を積み重ね、オールラウンドに対応できる職員(ゼネラリスト)の育成を基本としております。加えて、より高い専門分野においては、特化した知識を備えキャリアを積んだ職員(スペシャリスト)の育成も図っております。</p> <p>今後も文教住宅都市の理念の下、いつまでも住み続けたいと思うまちづくりを推進できる有能な人材の確保・育成に取り組んでまいります。</p>	③

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
123	地域別アウトライン	-	「地域自治組織のあり方について検討」とあるが、現在、地域自治組織は社会福祉協議会が中心的に指導する任意団体であり、この中には行政から委託を受けた者(民生・防犯・美化推進委員等)と純粋なボランティアが混在し、世話役がリーダーシップを取りづらくなっているように感じる。また、地域住民の地域コミュニティ活動への理解・参加を阻害していると感じる。	今後、少子高齢化に伴い、行政課題、地域課題を解決していくには、地域と一緒に取り組む新たな枠組みづくりが必要と考えており、地域自治組織のあり方もあわせて検討していくことが必要と考えております。いただいたご意見は検討を行う際の参考とさせていただきます。	③
124	地域別アウトライン	-	「地域ケア会議の推進」とあるが、地域自治組織と地域ケア会議は中央政府の担当からすると、総務省系と厚生労働省系に分かれる。 地域住民には、行政組織に関係のなく一体的に内閣府の推進する小さな拠点「地域運営組織」のような運営を検討し、現在社会の中心として活躍する人々のことが反映されるまちづくりをすることが市の繁栄につながる。多くの地域住民が参加し関わり合う全ての人々に居場所がある一体感を持った支え合うまちづくりをお願いしたい。	福祉に関する問題解決の仕組みとして「地域ケア会議」の開催を進めていますが、地域には福祉の問題だけでなく、様々な問題があることは認識しております。 それぞれの地域によって特色があり、違いがある中で、地域ケア会議にこだわらず、その地域に応じた形で、福祉のことも含めた話し合う場づくりを進め、多くの地域住民が参画し、誰もが暮らしやすい西宮にしていきたいと考えております。	③
125	地域別アウトライン	甲東地域	主な取組に「門戸仁川線の整備促進」とあり、15ページの地図では国道171号線以北を予定しているようだが、この部分が改良されると、松籟荘の新幹線高架を抜けて坂道を上ったところまで整備されるが、その先の上甲東園1丁目の5叉路の交差点が非常に危険である。 また、付近の道路についても交通安全上危険な場所が多く、先に171号線以北の一部が整備されると、今までと違う交通量となることが予想されるため、道路整備についてはこれらの問題を熟慮して欲しい。	門戸仁川線の整備については、国道171号付近の道路整備を検討しておりますが、今後の整備に向けた検討の中で、ご指摘の内容についても考慮していきます。	③
126	地域別アウトライン	甲東地域	仁川学院小学校の北西に位置する通称「五叉路」を中心とする中津浜線は、統計的にも交通事故が多いところであり、付近の学校園に通う子供は増加傾向にある。主な取組にある「門戸仁川線」が完成すれば、中津浜線の交通量が減り、交通事故も減少すると思われる。 この都市計画道路上には段上墓地があり、現在は墓地管理委員会が使用権について一定規制しているが、世代交代により墓地使用権を主張するものが増え、墓地の数が増えることにより、墓地の補償対象数が多くなり、事業化に支障となると懸念される。そうなる前に事業を進めるべきである。	都市計画道路の整備については、「都市計画道路整備プログラム」に基づき、優先順位をつけて効率的な事業推進に努めているところです。 門戸仁川線については、県が行う津門川貯留管整備と合わせて、国道171号付近の事業から着手する予定としております。ご意見にある区間については、当面事業化の予定はありませんが、長期的な課題として、引き続き検討していきます。	③

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
127	全般	-	地域計画(総合計画)策定のプロセスに、住民のまちづくり権(自らの住む地域のあり方を自らが決定する権利)を組み込む。パブリックコメントでは、市が聞き置くまでで終わってしまう。具体としては、市が作成した地域計画素案に対し、関係自治会の承認を必要するというプロセスが考えられる。用地地域の設定・運用についても同様のプロセスを踏むこととする。ただし、承認権限を持つ自治会については、真に住民を代表しているか否かを審査する仕組みは必要である。また、計画策定後も住民が関与する仕組みが必要。市の行為に対し疑義が生じた場合、市の説明責任を義務付けるなどのプロセスを設けなければならない。	本市では、地方自治法第96条第2項に基づく「西宮市議会の議決すべき事件に関する条例」により、「基本構想」と「基本計画」は、議会の議決を経て定めます。 また、「実施計画」は、基本計画で示した各施策を具体化するための、主要な事務・事業の実施について、年次的な調整を加え、財源や市長のマニフェストなどとの整合を図り、具体的で実効性のある計画として策定し、計画に定められた事務・事業は、議会による毎年度予算の審議及び議決を経て実施されます。 以上のように、総合計画は代議制民主主義の下、適切なプロセスを経て策定されているものと考えております。	④
128	全般	-	<ul style="list-style-type: none"> 内容的に、4次総の積み残しが大半のように感じた。 市の指針、政策、施策などについて、意味や定義がよくわからないので説明が必要。 5W1Hが十分でなく、知りたいバックデータが不足しており、現状把握が弱く感じた。全ての行政サービスにおいて向上させることは望ましいが、不要と思われるところも少なくない。QC手法により問題を把握し、PDCAを機能させることが大切であり、大胆な発想で財政を見直す必要がある。地方債残高、公債費の右肩上がりも好ましくないが、何より市民税が高くなるのは困る。 市民アンケートについて、内容が誘導的、抽象的な質問のように感じた。具体的に予想される問題点などを盛り込んだアンケートをとっていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 第4次総合計画では、震災による地方債の償還が減る一方で、教育や福祉などの行政サービスの充実に財源を投じてきたことから、公共施設等の老朽化への対策が十分にできていない状況にあります。 総合計画は市の最上位計画であり、長期的なまちづくりの基本的方向を示すものであることから、「まちづくりの指針」と表現しています。また、基本計画における「政策・施策分野」については、体系化する際の各分類の呼称として用いております。 第5次総合計画では、実効性の高い行政マネジメントの仕組みや毎年度見直しを行う実施計画の策定作業等において、PDCAサイクルを推進します。アクションプランにおける「現状と課題」については、改めて見直しを行い、記述の修正を行います。 総合計画策定に係る市民アンケートは、問いによって選択肢が多岐にわたるものがあります。一方で、選択肢の内容は、回答者の方の御負担にならないよう、できるだけ簡潔で分かりやすいものを設定しております。 	③
129	その他	-	第4次総合計画の進捗・目標達成度がどこまで到達しているかの説明がない。(数値化して評価をすべき)	第4次総合計画では、各施策に「まちづくり指標」を設定し、その数値目標やまちづくり評価アンケートのギャップ値(期待度と満足度の差)などを活用した行政評価(施策評価・事務事業評価)を実施することにより、計画の進捗に取り組んでおります。それらについては、市のホームページでもご覧いただけます。	④
130	その他	-	武庫川の西宝橋付近では川底にテトラポットが散乱しているため、河川整備を行ってほしい。	ご要望の主旨を河川管理者である兵庫県に申し伝えます。	⑤
131	その他	-	地域説明会については、配布した資料内容を重複的に説明するのではなく、文書にない成果と課題、その背景、今後の展望について簡単に説明してもらえたら良かった。	地域別説明会については、様々な方のご参加を想定した上で、限られた時間の中で、より理解を深めていただくために、資料記載内容を説明しました。	⑤

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

No	該当計画	該当箇所	意見内容	市の考え方	回答分類
132	その他	-	仁川について、毎年草が伸び始めると西宮市側、宝塚市側が競うように草刈りをしているが、川の真ん中は手入れされておらず、伸び放題となっている。どこが担当しているのか。	仁川の除草につきましては、河川管理者である兵庫県からの委託により本市が受託し、水路治水課にて実施しております。濤筋付近は水鳥等の生息保護のため、一部の区間において除草を制限しております。	⑤

【回答分類】 ① 素案に記載済の内容です / ② 素案を修正します / ③ 今後の参考・検討とします / ④ 素案のとおりとします / ⑤ その他

3. 「第5次西宮市総合計画(素案)」にかかる修正箇所対応表

No	意見No	修正前	修正後	素案該当箇所
1	58	◎ 障害者差別解消支援地域協議会を設置し、差別解消に関する取組を進める。	◎ 差別の解消に関する条例制定に向けた協議を進めるほか 、障害者差別解消支援地域協議会を設置し、差別解消に関する取組を進める。	アクションプラン 11.障害者福祉 (P30)
2	69	<p>◆ 日本酒は近年海外での人気が高まっており、市内酒造会社は海外での事業拡大に取り組んでいる。また、国においても、日本酒に関心の高い国内外からの来訪者を、全国の酒蔵に取り込む酒蔵ツーリズムを推進している。</p> <p>◆ 本市では、平成25年に「西宮市清酒の普及の促進に関する条例」を制定したことを機に、日本酒ファンづくり、販路拡大、酒蔵への来訪者増加などを目的とする日本酒振興プロジェクトに取り組んでいる。</p> <p>◆ 国が進める広域観光圏構想を踏まえて、神戸市が近隣市と連携し設立したDMO(神戸観光局)に本市も参画するとともに、鉄道各社と連携した各種情報発信を行うなど、広域での情報発信に努めている。</p>	<p>◆ 平成25年に制定した「西宮市清酒の普及の促進に関する条例」や平成29年に制定した「西宮市宮水保全条例」に基づき、日本酒文化の発信と酒造業の振興に取り組んできた。今後は更に、酒蔵ツーリズムの推進や、他の自治体や鉄道会社と連携した広域観光の取組により、本市への来訪者を増やし、市内産業の振興につなげる取組が求められる。</p> <p>※三つのパラグラフを統合し、「宮水」に関する記述を追加します。</p>	アクションプラン 20.都市ブランド (P53)
3	107	◎ 津波対策、洪水対策、土砂災害対策の事業を促進する。	◎ 土砂災害や地震、津波、 高潮・洪水などの風水害 等への対策事業を促進する。	アクションプラン 30.防災・減災 (P76)

本市の総合計画は、「西宮市議会の議決すべき事件に関する条例」により、市議会の議決を経て定めることとしております。

このたびパブリックコメントを実施しました「第5次西宮市総合計画(素案)」は、平成31年3月定例会での議決に向けて、現在も市議会や総合計画審議会などのご意見も踏まながら精査中です。

策定した「第5次西宮市総合計画」については、市議会の議決後に公表いたします。